

不
裁
省

建
議

3319



114
A 2222



閣下ニ呈ス良介向ニ職ヲ紙幣頭ニ兼クルヤ謫
 劣ヲ顧ミス勵精力ヲ該職ニ盡シ以テ閣下ノ意ニ
 對セントス而シテ其職任兼テ國立銀行ヲ管スル
 ヲ以テ首トシテ第一國立銀行實際ノ景況ヲ熟視
 スルニ其方法或ハ條例ニ違戾スル者間々有之其
 整頓ナラサル實ニ憂慮ニ不堪然レ共當時該銀行
 ノ情義斷然釐正ス可カラサル者アリ以為ラク銀
 行ノ事俄カニ着手ス可カラス而シテ製造ノ事業

大正十一年四月
 大隈侯爵郵寄贈

大藏省

及ヒ用度ノ計算ハ一日モ輕忽ニ渉ル可カラサル
者ナルヲ以テ銀行ノ事務ハ唯其營業上措置ノ當
ヲ得サル小事件ヲ改メシムルノミニシテ自余ハ
概テ不問ニ付シ置キ先ツ製造及ヒ用度ノ事ニ着
手シ一閱年ニシテ稍其整正ナルカ如キヲ得タリ
然リ而シテ該期ニ當ツテ會々小野組鎖店スルニ
際シ其事第一國立銀行ニ管係スル者大ナリ此ニ
於テ該銀行總監役澁澤榮一ヨリ陳スル所ノ意見
ヲ附シ稟議シテ以テ閣下ノ決ヲ仰キ終ニ該銀行
ヲ整正スルヲ得タリ爾來營業ノ方法一ニ條例ニ

準據シ大ニ銀行ノ体面ヲ一變シ預金貸付金為
換等ニ至ル迄年一年ヨリ其額ヲ増シ隨テ每半
季利益割賦ノ高益々多キヲ加ヘ漸ク盛大ノ域
ニ進マントス殊ニ其官金取扱ノ方法ニ至ツテ
ハ曾テ大藏省ト結約スル所ノ條規ヲ遵奉シ其
正確ナルハ各期検査ノ際ニ於テ確認スル所ノ
者ニシテ敢テ疑ヲ容ルヘキ者ナシ而シテ官民
ノ便利ヲ助クル亦少シトセス然ルニ今般出納
寮中更ニ實金局ヲ設ケ官金納拂規則ヲ施行セ
ラル因テ頃日銀行將來處分ノ方法ヲ以テ閣下

ノ 膝下ニ縷陳シ併セテ淡澤榮一ヨリ陳白スル所
ノ 書ヲ呈シ以テ閣下ノ諭示ヲ仰ツ閣下良介ニ諭
示セラル、ニ其實金局ヲ置カル、所以ノ者ト及
ヒ官金銀行ヲ追設セラルヘキ旨ヲ以テセラル因
テ以テ總ニ其事由ノ一端ヲ窺フヲ得ルト雖モ未
タ之ヲ詳悉スル能ハス然レ共之ヲ要スルニ蓋シ
官金出納ノ方法ヲ嚴明ニシテ疎漏ノ患ヲ除キ貸
財ノ融通ヲ慮テ壅塞ノ弊ヲ免レントスルノ盛意
ニ可有之然レ共其方法ニ至リテハ良介ノ見ル所
或ハ之レニ異ナル者アリ請フ敢テ其利害ヲ左ニ

條陳セン夫第一國立銀行ノ儀ハ結約ノ條規ヲ履
キ專ラ官金取扱ニ從事シ其預ケ金ノ内使用スル
ヲ得ル者ハ期限ヲ定メ之ヲ人民ニ流通スル者亦
少ナカラス今實金局ヲ設ケラル、ノ故ヲ以テ俄
ニ其預金引上ラル、ニ至ラハ該銀行ノ開鎖ニ関
係シ終ニ政府處分ノ緩急ニヨリテ又一ノ小野組
ヲ生レ更ニ貸財ノ不融通ヲ釀成スルニ至ラン且
官金ノ出納嚴明ナラシメンカ為メ各院省ノ出納
ヲ一ニ出納寮ニ統轄セシムルハ固ヨリ至當ノ成
規ニシテ敢テ間然スル所ナシト雖モ其出納ノ金

額多トナク少トナク總テ實金局ニ於テ親ラ其現
貨ヲ取扱フ如キハ暫ラク其事務ノ繁劇ト其經費
ノ許多ナルヲ論セサルモ全國ノ租稅ヲ聚集シ之
ヲ一局ニ閉藏スルヲ以テ民間ノ貸借ヲ助クルヲ
得ス其融通ノ便利ヲ失スルモ亦恐クハ少シトセ
ス殊ニ該局ニ於テ人民ノ為換ヲ取扱カ如キハ自
然人民ト競争ノ勢ヲ生シ終ニ為換ノ業ヲ營ム者
ヲシテ其業ヲ廢セシメ以テ其數ヲ減スルニ至ラ
ン若シ如此ナラハ當ニ其苦情ヲ來スノミナラス
其弊害モ亦測ル可カラサラン且又日耳曼國銀行

條例ヲ模擬シ新ニ官金銀行ヲ設立シ其株主ヲ人
民ニ募集シ官吏ヲシテ之カ總督タラシムルカ如
キハ恐クハ猶未タ其策ヲ得タルノ最ナル者ニ非
サルナリ今夫巨商タル者ハ既ニ官府ノ誘導ニヨ
リ設立スル所ノ舊為換會社ニ懲戒シ其覆轍ヲ恐
レ敢テ其募ニ應スル者ナカラン假令其募ニ應ス
ル者アリテ之ヲ設立スルヲ得始ハ能ク其規則ヲ
遵守シ營業確正ナルカ如キヲ得ルモ終ニ一蹉跌
ナキヲ保ス可カラス若シ蹉跌スルアレハ則宛然
舊通商司ト為換會社ノ弊害ヲ生シ亦收拾ス可カ

ラス殊ニ日耳曼銀行ニ準據シ貸付金ノ證書ヲ
抵當トシテ銀行紙幣ヲ發行シ得ルカ如キ特權
ヲ有セシメ政府發行紙幣總額ノ外更ニ若干ノ
紙幣ヲ發出スルニ至テハ紙幣ノ額數益倍獲シ
テ其價位ニ多少ノ差異ヲ生シ其影響終ニ政府ノ
紙幣ニ波及シ物議沸騰官民共困難ノ域ニ陷ラン
抑官金ヲ付托スルハ英國政府ノ「バンク、ラフ、イン
グランド」ニ付托スルノ方法ニ愈レル者アラサル
ナリ夫英國貨財ノ融通ヲ維持スル者ハ全ク「バン
ク、ラフ、イングランド」ノ各地銀行ニ流通シテ民間

ノ便利ヲ計ルニアリ而シテ各地銀行ハ多クハ資
財ヲ「バンク、ラフ、イングランド」ニ仰キ「バンク、ラフ、
イングランド」ハ政府歳入ノ付托ヲ受ケ以テ大ニ
民間ノ融通ヲ便ニシ政府ト銀行ノ間氣脈互ニ通
シテ障礙スル所ナシ故ニ政府ハ常ニ一金ヲ貯藏
スルコトナク舉テ之ヲ銀行ニ付托シ唯之ヲ監護シ
テ以テ其出納ヲナサシム是ヲ以テ英國ニ於テハ
貸財產滯ノ患ナク亦官金出納ノ正確ナラサルコ
トナシト因テ熟々之ヲ参考スルニ今我國官金ヲ出
納スルハ全ク之ヲ出納寮ニ統轄セシメ其現金ノ

出納ハ大藏省ニ於テ適宜ノ方法ヲ設ケ正確ナル
条約ヲ以テ之ヲ第一國立銀行ニ管守セシメ之ヲ
官民ノ間ニ立テ專ラ金銀融通ノ進路ヲ開カシム
ルヲ英國政府ノ「バンク・オブ・イングランド」ニ於ル
カ如ク更ニ之ヲ監護シテ勉勵從事セシメハ其營
業自ラ盛大正確ノ區域ニ進ミ官金ノ出納正確ナ
ルヲ得テ民間ノ融通壅塞スルヲナキニ至ルハ必
然ニ之レアル可ク今新ニ官金銀行ヲ設立スルノ
難キハ第一國立銀行ニ托スルノ易キニ如カス况
ニヤ官金銀行ヲ設立セハ全國貨幣三分二ハ此銀

行ノ用ニ供スルハ素ヨリノ「ニ」テ殘餘僅少ノ資
金ヲ交換銀行即チ國立銀行ニ蒐集スルヲ得ルモ
此微カヲ以テ如何ニシテ一億圓ノ紙幣交換ノ基
礎ヲ開設スルヲ得ヘケンヤ且官金銀行ト交換銀
行ト其体裁ヲ異ニシ其指揮兩途ニ出ルトキハ互
ニ相抵觸シテ并立スル能ハサルハ必然ニシテ終
ニ交換銀行ハ其維持ノ道相斷ニ轉沛シテ以テ其
影響官金銀行ニ連及シ結局紙幣交換ノ道滅絶シ
理財上於テ一種壅塞ノ紹介トナルニ至ラン然ル
ニ猶此際ニ於テ斷然官金銀行ヲ設立セラレント

ナラバ寧ロ交換銀行ヲ廢停シ其責任ヲシテ更ニ
官金銀行ニ負擔セシムルヨリ外亦タ道アルナ
シ然リト雖モ其成功ノ如何ト其幣害ノ有否トニ
至ツテハ則テ恐クハ猶未タ測ル可カラサルナリ
因テ頃日稟申スル所ノ第一銀行へ貸下金許可セ
ラル、ニ至ルノ間官金引上方猶豫セラレ而テ談
事ノ全ク結了スルニ至リ漸次前条陳述スル所ノ
官金付托方法ニ着手セラレントテ是請フ鄙劣ヲ
顧ニス敢テ意見ヲ陳ス閣下其レ之ヲ採擇セラレ
三頓首謹言

明治九年三月

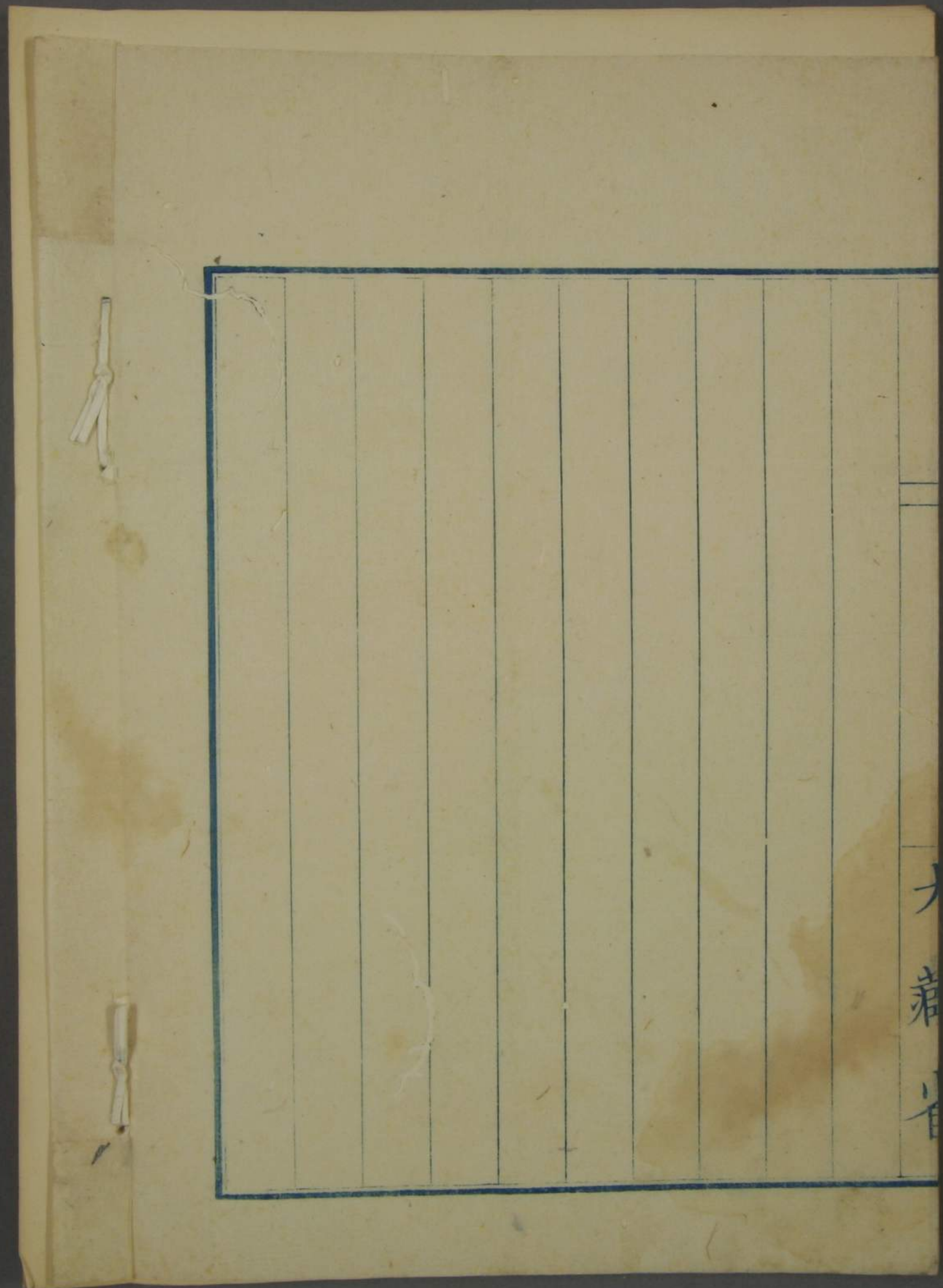
紙幣頭得能良介

大藏卿大隈公閣下

大藏省

6

大藏省



大新書